

平成24年度事業計画

基本方針

わが国の経済情勢は、デフレの長期化、急激な円高による影響、国内外経済の減速、さらには東日本大震災の影響により厳しい状況にあるなかで景気は緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、中小企業や地場産業界においては極めて厳しい状況が続いています。

このような変動の激しい経済情勢にあって地域が一丸となり、地域産業活性化のための取組みが求められています。

このため、センターとしては、地域の地場産業振興の中心的役割を果たすべく、関係団体との連携を密にし、交流の橋渡し役を担うとともに、情報の収集と発信、また販路の開拓や拡大を目指した見本市や物産展への出展機会の提供など、地域の地場産業活性化に努める。

また、施設の管理運営面においては、一層の合理化を図り、健全な運営に努める。

重点事業

1. センター管理運営事業

- (1) ダイレクトメール等により新規顧客の獲得や過去の利用状況をデータベース化して、施設の利用促進と利用者のサービスに努める。また、自主財源の確保にも努めるとともに経費の節減を行い、効率的かつ合理的運営に努める。
- (2) センター職員の研修については、各種研修に積極的に参加するとともにセンター内研修を強化するなど、職員の資質向上に努める。

2. 需要開拓事業

(1) 大消費地での「和歌山物産展の開催」

大消費地での和歌山地域の観光PRと物産展を開催し消費者に製品や製品の優秀さを広くPRすることにより販路の開拓と拡大を図る。また、大消費地は情報収集の絶好の機会であり、そこで得た情報を新商品開発や今後の販路開拓の取り組みに活かしていく。

(2) 物産展の開催

- ① 和歌山地域の優れた地場産業製品や製品の展示即売・実演・体験を行い、広くPRするとともにマーケティングの場とする一方、消費者ニーズの把握にも努める。
- ② JR森ノ宮、JR京橋駅構内やJR和歌山駅前で「和歌山物産展」を開催し、地場産品の需要開拓を行う。

(3) 各種イベントへの出展参加

各地域の地場産業振興センターが主催する物産展や各種イベントに積極的に参加し、地場産品を広くPRし、需要開拓を図る。

(4) 講演会の開催

地場産業経営者及び従業員を対象に販路開拓を目的とした講演会を開催し、企業

の新たな取り組みの促進に努める。

(5) 展示即売コーナーの販売促進

センターの展示即売コーナーについては、展示品の充実を図るとともにホームページにおいても新商品等を紹介し、より一層のPRと販売促進に努める。

3. 情報収集提供事業

ホームページによる情報の収集や提供に努める。

4. アンテナショップ事業

- (1) アンテナショップに隣接するまちなか交流スペース「みんなの学校」と統合し、幅広いサービスに努める。
- (2) アンテナショップによる地場産品のPRと販路開拓、需要促進を行うとともに出展業者による店頭PR販売を行う。
- (3) ネット販売によるPRと販路開拓、需要促進を行う。
- (4) 近畿地場産業振興センター連携事業によるショッピングモールでのPRと販路開拓、需要促進を行う。

5. その他の事業

- (1) 新公益法人制度施行に伴う法人の移行については公益財団法人への移行への申請を行う。
- (2) 消費者に地場産品の良さを知ってもらうため、各種教室を開催する。
- (3) 異業種交流の推進により新技術や新商品の研究、開発に資するよう各分野からの参加を求め知識、資源の融合化支援活動に努める。
- (4) 関係市町との連絡を密にするとともに関係団体の支援活動や事業協力についても連携を密にする。